

(別紙5)

ホームページ等公表内容

| | |
|-------|---------------|
| 施設名 | 町田なかよし保育園 |
| 施設所在地 | 町田市原町田2-12-17 |
| 法人名 | 学校法人 矢口学園 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

造形

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

大きな砂場を有する環境の中、普段の保育で砂遊びを楽しんでいる。保育者を交えながらも友達と協力して大きなものを作ったり同じイメージを共有して遊ぶことが出来るようになってきた為、砂以外の物ではどのような遊びの広がり方をしていくのかを問いとし造形をテーマとした

2. 活動スケジュール

- ・各グループごとに粘土遊び
- ・ブルーシートを敷き全員で粘土遊び
- ・粘土以外のものも追加してイメージを広げる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・普段の一人分よりも大きなものを作れる様、多くの粘土を準備したり、床に敷いたブルーシートの上で行う事で普段とは違い、自由に動ける環境で行えるよう設定をした。また、子ども達が自由に発想し遊びが広がるよう、装飾物も様々なものを準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・各グループごとに机の上で友だちと一緒に粘土遊びを行った
- ・ブルーシートを敷き粘土遊び
- ・ブルーシート上での粘土遊びがよりごっこ遊びにつながったり大きさや長さの制限もなく自由に行う様子があった為、粘土以外のものも追加し、装飾物を自分で選んで取り入れられる環境の中でさらに遊び込んでいった

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

普段はテーブルの上で個々に行うことの多い粘土だが、多くの量を準備し普段と違う環境で行うことで、ごっこ遊びもイメージが広がり友だちと関わりながら楽しむ姿が見られた。粘土以外の物も使用したことで、段ボールで電子レンジを作り中にいれる食べ物を話し合いながら粘土で作ったり、装飾物を使って立体的なものを作り「2階建てになった」と喜ぶ見もいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

最初は、グループごとに机の中央で一緒に作る事を想定して行ったが机中央までが遠く遊びづらそうな様子があり、次の機会には床に敷いたブルーシートの上で行うよう変更した。おままごとの延長のような楽しみ方をしていたが、子ども達同士でレンジの中に何の食べ物を入れるかを相談し、粘土をイメージした形に近づけようと模索している姿に、出来上がったものではなく自分で作る事ができる楽しさを味わえるものの良さを改めて感じた。他にも粘土以外の装飾物でより立体的なものを作ろうと力加減や角度などを探求していたり、子どもたちの主体的な遊びとなったことが伺える良い機会となった。